



よせ響に中国を力の条

特大の横断幕を掲げる集会参加者＝3日、北海道苫小牧市

18.11.6

目標
4万人

3万2000人に到達

北海道 苫小牧連絡会が集会

3野党があいさつ

日本国憲法が公布されて72年の3日、北海道苫小牧市の「平和憲法を生かす苫小牧連絡会」は、「平和憲法を守りぬく! 3000万人署名をめぐす集会」を開きました。秋晴れのもと、市役所前広場に集った80人が安倍政権退陣、9条改憲阻止のうねりをつくっていくと声をとどろかせました。

今年2月、元苫小牧市長や元市議会議長ら19氏が呼びかけ人となって安倍9条改憲に反対し、憲法の民主主義や平和主義の諸原則が生かされる政治を求めて共闘する団体・個人で連絡会を結成。4万人

安倍9条改憲 NO!
3000万人
署名

の目標に、3万2000人(1日現在)と迫っています。共同代表の板垣辰・苫小牧退職校長会会長は「憲法をめぐる動きは正念場で、秋からの一大政治決戦です。憲法こそ世界の宝。戦争のない国づくりの使命を担って奮闘していきましよう」と開会あいさつしました。

政党からは、立憲民主党の沖田清志道議、国民民主党の山岡達丸衆院議員、日本共産党の西敏彦苫小牧地区委員長があいさつ。沖田氏は「改憲へ暴走する安倍政権に歯止めをかけた」と強調。山岡氏は「祖父(作家山岡荘八氏)の教えで平和を守っていくことを家訓としている。憲法を守り広めていくことが大事と考えています」と述べました。西氏は「戦後最悪の安倍政権を市民と野党の共闘力で一刻も早く終わらせましよう」と訴えました。日本共産党の松橋千春道議候補が沖繩県知事選に応援に入った報告をしました。

集会後、市内中心部をデモ行進しました。

改憲阻止うねりつくろろう